

各 位

会 社 名 日本鑄造株式会社
 コード番号 5609
 問合せ先 取締役 財務担当
 小山 邦彦
 TEL (044) 322 - 3751

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18年 10月 25日に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 19年 3月期 連結通期業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18年 10月 25日 発表)	18,700	1,500	840
今回修正予想(B)	20,000	1,900	1,100
増減額(B - A)	1,300	400	260
増減率	7.0	26.7	31.0
前期(平成18年 3月期)実績	18,128	1,481	617

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 26円 16銭

2. 19年 3月期 個別通期業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 18年 10月 25日 発表)	17,400	1,400	770
今回修正予想(B)	18,600	1,800	1,000
増減額(B - A)	1,200	400	230
増減率	6.9	28.6	29.9
前期(平成18年 3月期)実績	16,976	1,378	469

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 23円 78銭

3. 理 由

[連結業績]

当第3四半期(平成18年4月1日から平成18年12月31日まで)における業績は、素形材分野では半導体、エネルギー関係の需要増及び原材料高騰の販売価格転嫁等により、売上高が順調に伸長致しました。又、エンジニアリング分野では昨年度(平成18年3月期)大きく落ち込んだ橋梁向けの反動及び建築接合金物が堅調に推移し、前年同期比16.4%増と大きく伸長致しました。この結果、売上高は前年同期比11%増の147億1千8百万円と大幅な増収となりました。

収益面では、原材料の更なる高騰があったものの、その高騰の一部を販売価格に転嫁できたこと及び廉価購買等のコスト合理化、生産性向上により経常利益は前年同期比62.5%増の14億5千7百万円、四半期純利益は154.9%増の8億6千1百万円といずれも大幅な増益となりました。

第4四半期業績につきましても、ニッケル等原材料価格動向は依然予断を許さないものの、第3四半期並みの業績で推移するものと想定され、通期の連結業績見通しを売上高は200億円(前回予想比7.0%増)、経常利益は19億円(前回予想比26.7%増)、当期純利益は11億円(前回予想比31.0%増)に業績修正することに致しました。

[個別業績]

連結業績と同様の理由であります。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したもので、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上